

- ② 地域防災計画を改定
- ③ 住宅の耐震工事などを助成
- ④-⑤ 特集 厚木の足跡をたどる
～平成から令和へ～
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



災害対応力日本一のまちへ 拠点機能形成車と 高度救助隊発足

▶幅最大 4.6 桁まで拡張した車両は災害時の指揮拠点に。無線機やパソコン、スクリーンなどを設置し、隊員の消防活動を後方から支援



◀車両に搭載されたエアテントは床面積約 90 平方メートル、およそ 30 人の隊員が一度に寝泊まり可能。その他、シャワーや炊事時用コンロなども積載

間警防課 ☎ 223-03000

全長 12 桁に及ぶ車体の前に、りりしい顔つき
の隊員たちが並びます。消防本部はこの春、
大規模災害時に消防活動の拠点となる機能
を備えた「拠点機能形成車」と、高度な専門知
識と装備を持つ救助専門の「高度救助隊（2
面）に関連記事あり」を導入しました。

拠点機能形成車は、長期の消防活動に対応
できる特殊車両。全国に 22 台配備されており、
トイレなどの生活設備や情報伝達のための機
器を搭載しています。市では、災害対応力を
高めるため、総務省消防庁へ無償使用を要請。
3 月に県内初の配備が決まりました。今後は、
緊急消防援助隊としての出動時や、市内での
災害発生時に活用します。警防課の八重樫浩
さん（47）は「車両や資機材の準備にかかる時
間や人手が、拠点機能形成車があることによ
って大幅に削減でき、迅速な出動につなが
る。全国の大規模な災害はもろろん市内での
長期にわたる消防活動でも大きな力になる」
と期待を込めます。

市ではいざという時に備え、隊員の能力向
上や装備の充実など、さらに災害対応力を高
めていきます。

Zoom Up

必ず起こる災害に備えて 地域防災計画を改定

地域防災計画には、市や市民の皆さんの災害への備えや被災後の動きを記しています。災害が起きた時に適切な行動を取るには、最新の計画に基づいた準備が欠かせません。市では、近年全国で発生した大規模災害の教訓などを踏まえ、3年ぶりに計画を改定しました。

地震や風水害などの自然災害は突然発生し、私たちの生活を脅かします。市では、災害による被害を軽減し、被災後もいち早く皆さんの日常を取り戻すため、地域防災計画を策定しています。計画は、「地震災害」「風水害等」の二つの対策編と「資料編」の3部で構成。災害の予防、応急活動、復旧・復興計画を時系列順にまとめています。2011年の東日本大震災以降に、これまで3度改定。熊本地震や平成30年西日本豪雨の教訓をはじめ、国や県の計画見直し事項、市防災会議の意見を踏まえて、今回、4度目の改定を実施しました。

実際の災害を教訓に

熊本地震や西日本豪雨では、いずれも200人以上の方が命を落としました。中でも、多くを占めていたのが逃げ遅れなどによる高齢者の被害でした。そのため、今回の改定では、高齢者や障がい者といった要配慮者への安全対策を強化。自治会や民生委員・児童委員などによる要支援者の把握に加え、入所施設の管理者による安全対策を明記しました。計画の改定に携わっ

た市防災会議委員の星野初代さん(79・水引)は「災害時には、誰もがとっさに決断し、行動に移すことが大切。計画の内容をひとごととせず、自分のこととして考えてもらいたい。避難所では、高齢者や女性など特有の問題も起きる。年代や性別に応じたリーダーの育成も重要」と訴えます。

この他、ブロック塀の倒壊による被害や、全国から届く物的・人的支援の確な配分態勢が取れていなかった課題を踏まえ、建築物などの安全対策や応援受け入れ体制の強化を追加。計画に基づいた地域別の防災計画策定も加

えました。災害は必ず起こると考え、備えることが大切です。市では、計画改定の他、拠点機能形成車や高度救助隊(右欄参照)を導入。今後は、災害の種類ごとに対応を記した「防災ポケットブック」を全戸配布するなど、災害に強いまちづくりを進めていきます。

「必ず起こる」という心構えを

閩危機管理課 ☎225-2190



毎年9月に行う防災訓練も計画に基づき実施している

地域防災計画

ここが変わりました! 計画の主な変更点を紹介します。

Check 1 避難情報の名称変更を追加

国が変更した避難情報の名称を反映

市が発令する避難情報

避難指示(緊急) 緊急度★★★

人的被害の発生またはその恐れあり。直ちに安全な場所へ避難

避難勧告 緊急度★★

河川の氾濫や土砂崩れの危険あり。緊急避難所へ避難

避難準備・高齢者等避難開始 緊急度★

避難準備を開始。高齢者などは、この段階から避難



Check 2 要配慮者安全対策を強化

土砂災害警戒・洪水浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の管理者などは、避難確保計画を策定し避難訓練を実施するよう明記

Check 3 応援受け入れの体制を見直し

他の市町村や防災機関からの応援を円滑に受け入れるため、災害対策本部に「受援担当」を設置。必要となる物的・人的支援を把握・要請する

Check 4 自主防災組織の女性リーダーを育成

自主防災隊への女性参加を促し、特有の課題に対応する女性リーダーを育成

Check 5 建築物などの安全対策を追加

ブロック塀などの倒壊を防ぐため、危険ブロック塀の工事に係る費用の一部を助成する制度を周知。必要に応じて、点検を実施



Check 6 地区別防災計画を策定

市地震被害想定調査(市HPに掲載)や洪水浸水・土砂災害ハザードマップを基に、地域別の課題や対策などをまとめた「地区別防災マップ」を市民協働で作成
ハザードマップは公民館などで閲覧できる



市民活動をサポートします

市民協働提案事業

地域が抱える課題解決などのため、市民と市が協力する事業を募集

【対象】①市内に活動拠点がある②3人以上の役員を置き、構成員の5人以上が市民③運営に関する会則があり、適正に会計処理している一などの要件を満たす団体【負担額】上限200万円

市民活動推進補助金

ボランティアなどの公益的な活動をする団体に、事業費の一部を補助

【対象】①不特定多数の利益増進が目的②市内に事務所や活動拠点がある③構成員が3人以上一などの要件を満たす団体【補助額】対象経費の3分の2(上限15万円)



昨年度は相模人形芝居とジャズの共演が実現

いずれも負担額・補助額は年数によって異なります。☎市民協働推進課や公民館などにある手引きを確認し、6月7日までに直接、市民協働推進課 ☎225-2141へ。

高度救助隊とは

人命救助の専門的な教育を受けた隊員と高度な救助器具を装備した救助工作車で編成した部隊。18人の隊員が所属し、災害時には5人以上1チームで任務に当たる。

主な任務

画像探索機や、地中音響探知機などの特殊器具を使い、通常の部隊では対応できない危険な災害現場で救助活動に当たる。

画像探索機…倒壊した建物の隙間から内部を探ることができる 地中音響探知機…がれき・土砂などに埋まった人の微小な音を探知する

☎消防総務課 ☎223-9366

みんなの命を守る特別部隊 高度救助隊が発足

人命救助のエキスパートで編成した高度救助隊を発足し、まちの災害対応力を強化しました。





まずは窓口で気軽に相談を

知りたい! 我が家は対象?耐震助成

■どんな家が対象なの?

建築基準法の旧耐震基準で建てられた木造住宅です(下記参照)。

補助金	対象となる条件	補助割合	上限金額
診断	① 建物用途が「専用住宅」または「兼用住宅」 ② 地上2階建て以下の木造建築物 ③ 1981年以前に完成	全額	7万5千円
設計	① 診断補助を受けた ② 補強が必要と判断された	2/3	9万円
工事 (監理含む)	改修設計の補助を受けた	2/3	106万円

※建築や増改築の時期などで対象とならない場合があります。

■相談するには?

建築指導課で随時受け付けている他、公民館で予約制の無料相談会を開催しています。

日程	公民館	日程	公民館	日程	公民館
5月9日	厚木北	7月11日	森の里	9月5日	相川
5月23日	南毛利	7月18日	依知北	9月12日	緑ヶ丘
5月30日	厚木南	8月8日	睦合南	9月26日	睦合北
6月6日	小鮎	8月22日	上萩野分館	10月3日	玉川
6月20日	依知南	8月29日	愛甲	10月17日	睦合西
6月27日	荻野				

《時間》13時30分～16時30分

《持ち物》平面図・間取り図

☎建築指導課へ。

1981年以前に完成した分譲マンションも、耐震アドバイザーの派遣や予備診断の助成(費用の1/2、上限15万円)などで耐震強化を後押ししています。

詳しくは **厚木市 耐震助成** **検索**

☎建築指導課 ☎225-2434

5月～スタート モデル地区でもえるごみの戸別収集を実施

ごみ出し負担の軽減やマナーの向上を目指し、金田・まっかげ台・小野地区で1年間、戸別収集を試行します。

☎環境事業課 ☎225-2780

出し方のポイント

●道路に面した敷地内に出す…収集がスムーズにできるよう、道路側へ

●カラスや猫の対策を…周囲の環境への配慮も忘れずに

玄関から道路までに距離がある場合は、道路寄りに



ポリバケツや網でごみを保護

Q Zoom Up

1981年以前の木造住宅が対象

住宅の耐震工事などを助成

大きな地震が起きたとき、強い建物は皆さんの命や財産を守ります。市では、住宅の耐震強化の費用を助成し、地震に備えた住まいづくりをサポートしています。今年からは対象の条件を広げ、より使いやすく制度を改正しました。

1995年に西日本を襲った阪神・淡路大震災では、5502人もの犠牲者が出ました。うち、およそ9割が住宅倒壊で命を落としています。特に大きな被害を受けたのは、81年の建築基準法改正以前に建てられた木造住宅。市内にも、旧耐震基準の建物が今なお1万3000棟以上あります(2018年1月現在)。

市では、今の家に住み続けたいけれど耐震性が心配という方に、木造住宅の耐震診断・改修設計・工事への助成をしています。

最大122.5万円を助成

助成の対象は、81年以前に完成し、条件全てに該当する木造住宅です(左記参照)。工事の必要性を調べる「診断」、必要な改修内容を図面に起こす「設計」、図面を基に改修する「工事」の三つの項目で、最大122.5万円の補助が受けられます。

制度を使って自宅を改修した岩田達夫さん(78・温水)は「小さな地震でも聞こえる家のきしみが不安で、制度を知って改修に踏み切った。工事には市

の検査が入るので、安心して任せられた」と話します。

他の助成と併用も可能に

市は、旧耐震基準の建物の強化をさらに進めるため、4月から助成の対象を拡大しました。これまで家を所有し、居住する方のみだった対象を、中古住宅を買って住む方や、親などが所有する家に住む方、一軒家を所有し貸し出している方にも広げました。さらに、親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金(下欄参照)や、市内の旧耐震基準の空き家を買って、新耐震基準に改修して住む方に購入費の一部を補助する要耐震改修空き家取得事業補助金(最大90万円)とも併用できます。

相談は窓口へ

改修の必要性は、一般的には判断しづらいものもあります。市では、住まいの耐震に関する相談会を、各公民館で年に1回開催。自宅の平面図や間取り図を見ながら、市の職員が相談に応じます(左欄参照)。相談会以外でも、

市内に家を構える市外の方に最大100万円を補助 親元での近居・同居を応援

市外に1年以上住む方が、市内に1年以上住む親の元で家を新築・購入、改修する際に補助します。

☎住宅課 ☎225-2330

■住宅取得補助金
市内に家を新築または購入する際、費用の一部を補助

■住宅改修補助金
市内の実家に親世帯と同居するために必要な修繕や増築などにかかる費用の一部を補助

	住宅取得		住宅改修
	同居	近居	同居
基本額	60万	40万	対象経費の1/10(上限20万)
中学生以下の子がいる			10万
子世帯夫婦のどちらかが40歳未満			10万
定住促進地域※に住宅を取得			10万
1年以上市内に通勤			10万
最大補助額	100万	80万	60万(対象経費の1/2以内)

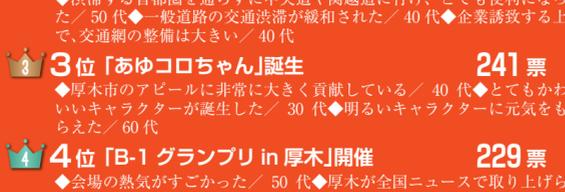
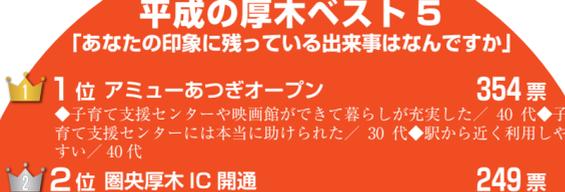
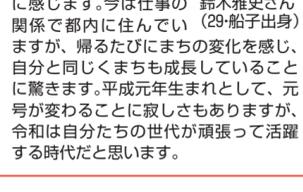
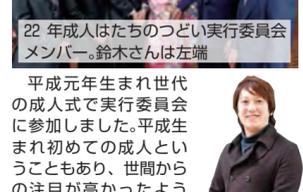
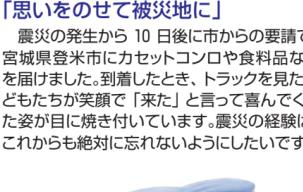
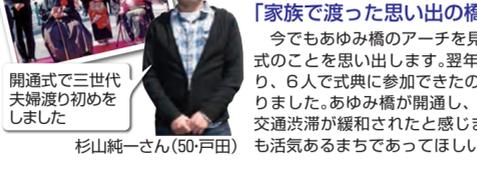
※依知北地区、小鮎地区、玉川地区、緑ヶ丘地区、森の里地区、まっかげ台、鷹尾1～5丁目、毛利台1～3丁目

助成を受けた方に聞きました!

両親が近くに住んで安心

田中啓貴さん(26・温水西) 結婚を機に一度市内の実家を出ましたが、子どもが生まれ、子育てしやすい厚木市に戻ることになりました。両親と祖母が住む実家から徒歩5分の場所に家を買って、70万円の助成を受けました。子どもが熱を出した時の迎えや子守りなど、何かと支えてもらって安心です。





厚木の ~平成から令和へ~ 足跡をたどる

新たな時代「令和」の幕が開けました。皆さんの思い出深い「平成」の出来事は何ですか。入学、就職、結婚、出産…。今回の特集は年表や写真で厚木の「平成」を振り返り、私たちが歩んできた道をたどります。

厚木市	平成	日本
1 荻野運動公園競技場オープン	元年	1月 平成に改元 4月 消費税導入(3%)
2 総合福祉センターオープン	2	11月 雲仙・普賢岳が噴火
3 20万人目の市民誕生	3	4月 新東京都庁開庁
4 新座架依橋開通	4	3月 新幹線のぞみ登場
5 愛甲石田駅連絡所オープン	5	5月 Jリーグ開幕
6 東町スポーツセンターオープン	6	9月 関西空港開港
7 消防署が厚木・北消防署の2署体制に	7	1月 阪神淡路大震災 3月 地下鉄サリン事件 7月 海の日が施行
8 あゆみ橋開通	8	
9 厚木中央公園全面オープン	9	4月 消費税が5%に
10 厚木伊勢原ケーブルネットワークがサービス開始	10	2月 郵便番号が7桁に 長野オリンピック開催
11 庫裡橋架け替え工事完成	11	3月 日産とルノーが資本提携発表
12 ぼうさいの丘公園オープン	12	6月 三宅島噴火 12月 BSデジタル放送開始
13 厚木商工会議所新会館オープン	13	4月 情報公開法が施行
14 特別市としてスタート 22万人目の市民誕生	14	5月 サッカー・ワールドカップ 日韓大会開催
15 市立病院を開院	15	12月 地上デジタル放送開始
16 「マイタウンクラブ」開始	16	10月 新潟県中越地震
17 網走市・車浦市と友好都市締結	17	3月 愛知万博(愛・地球博)開催
18 南毛利スポーツセンターオープン	18	2月 神戸空港開港
19 東丹沢七沢温泉郷が森林セラピー®基地に認定	19	10月 郵政民営化
20 あつぎ国際大道芸始まる	20	4月 「後期高齢者医療制度」開始
21 コスモシアターオープン	21	5月 「裁判員制度」開始
22 あつぎジャズナイト始まる	22	6月 小惑星探査機「はやぶさ」が地球へ帰還
23 「B-1 グランプリ in 厚木」開催		
24 セーフコミュニティ認証取得		
25 自治基本条例施行		
26 「あゆコロちゃん」誕生		
27 東日本大震災・支援活動を展開	23	3月 東日本大震災 7月 アナログ放送完全終了
28 新斎場オープン	24	5月 東京スカイツリーオープン
29 圏央厚木インターチェンジ開通	25	6月 富士山が世界遺産に登録 8月 2020年東京五輪の開催が決定
30 経営革新度調査で全国第1位	26	4月 消費税が8%に 6月 富岡製紙場が世界文化遺産に登録
31 アミューあつぎオープン	27	6月 選挙権が18歳に引き下げ
32 森の里東地区で区画整理が始まる	28	1月 「マイナンバー制度」開始 4月 熊本地震
33 市制60周年	29	12月 天皇陛下の退位日が 平成31年4月30日に決定
34 市立病院リニューアルオープン	30	6月 大阪府北部地震 7月 西日本豪雨 9月 北海道胆振東部地震
35 新東名厚木南インターチェンジ開通	31	4月 新年号「令和」が発表
36 糸満市と友好都市締結		
37 アジア地域セーフコミュニティ会議 厚木大会を開催		
38 共働き子育てしやすい街ランキング 2018で全国第3位を獲得		
39 あつぎ郷土博物館オープン		

市民アンケート 平成の厚木ベスト5 「あなたの印象に残っている出来事はなんですか」

- 1位 アミューあつぎオープン** 354票
◆子育て支援センターや映画館ができて暮らしが充実した／40代◆子育て支援センターには本当に助けられた／30代◆駅から近く利用しやすい／40代
- 2位 圏央厚木 IC 開通** 249票
◆渋滞する首都圏を bypass して中央道や関越道に行け、とても便利になった／50代◆一般道路の交通渋滞が緩和された／40代◆企業誘致する上で、交通網の整備は大きい／40代
- 3位 「あゆコロちゃん」誕生** 241票
◆厚木市のアピールに非常に大きく貢献している／40代◆とてもかわいいキャラクターが誕生した／30代◆明るいキャラクターに元気をもらった／60代
- 4位 「B-1 グランプリ in 厚木」開催** 229票
◆会場の熱気がすごかった／50代◆厚木が全国ニュースで取り上げられたのがうれしかった／40代◆当日はボランティアで参加した／50代
- 5位 市立病院リニューアルオープン** 215票
◆最新医療設備が整っているのが安心できる／60代◆建物が新しくきれいになった／30代

首都圏では初の開催となった厚木大会。全国から2日間で43万5000人が来場しました

60周年を祝い、祭りやスポーツ、市民参加型の催しなど計246の記念事業を実施。その一つ、「おんぶで100%」では、357組714人がおんぶをつなぎギネス世界記録に認定されました。

平成元年生まれ世代の成人式で実行委員会に参加しました。平成生まれ初めての成人ということもあり、世間からの注目が高かったように感じます。今は仕事の関係で都内に住んでいますが、帰るたびにまちの変化を感じ、自分と同じくまちも成長していることに驚きます。平成元年生まれとして、元号が変わることに寂しさもありますが、令和は自分たちの世代が頑張っている時代だと思います。

市内から集まった851作品から選ばれた市のマスコットキャラクター。平成25年のゆるキャラグランプリで6位に輝くなど、全国に厚木を発信しています。

平成元年生まれに聞きました「令和は自分たちがつくる時代」
22人成人はたちのついで実行委員会メンバー。鈴木さんは左端

あつぎこどもの森公園オープン
あつぎ郷土博物館オープン

「長く愛されるキャラクターに」
市の顔として長く愛されてほしいから、かわいらしさはもちろんな、市の魅力を伝えるアイコンにという意識でデザインしました。令和になっても、ながく愛されてほしいです。

「あゆコロちゃん」誕生
あゆコロちゃんの生みの親です
平井遥さん(31・林出身)

「思いをのせて被災地に」
震災の発生から10日後に市からの要請で、宮城県登米市にカセットコンロや食料品などを届けました。到着したとき、トラックを見た子どもたちが笑顔で「来た」と喜んでくれた姿が目に残っています。震災の経験は、これからも絶対に忘れないようにしたいです。

東日本大震災・支援活動
震災発生後、消防隊員や職員、市民ボランティアの派遣をはじめ、物資支援などを実施しました

セーフコミュニティ認証取得
厚木市セーフコミュニティ推進委員会

新斎場オープン

圏央厚木 IC 開通
圏央道の開通で、東名高速や中央道、関越道などへの連絡が可能になりました

新東名あつぎウオーク
糸満市と友好都市締結

アミューあつぎオープン
「旧パルコビル」を市が取得し再整備。多彩な店舗が集うショッピングフロアと、文化振興や生涯学習の拠点「あつぎ市民交流プラザ」、子どもや保護者が利用できる「子育て支援センター」、映画館で構成されています

「地域への拠点病院として」
移譲先が決まる前は、患者や家族の皆さんから「どうなるのか」という不安の声が多かったです。市が運営を引き継ぐことになり、皆さん安心したようでした。新しい時代も地域の拠点病院として、他の医療機関と連携し、皆さんの命と健康を守ってまいります。

市制60周年
あつぎ国際大道芸始まる

「あつぎ国際大道芸始まる」
コスモシアターオープン

市立病院リニューアルオープン
新東名厚木南インターチェンジ開通

糸満市と友好都市締結
アジア地域セーフコミュニティ会議
厚木大会を開催

あつぎ郷土博物館オープン

令和

こいのぼり約300匹が空を泳ぐ 地域住民が恩曾川にこいのぼりを設置



恩曾川上空を泳ぐこいのぼり

森の里こいのぼりまつり 若宮公園
5月3日、10～14時 森の里公民館 ☎250-5262

こいのぼりは、家庭で使わなくなった物の寄付を募り活用。年々数を増やし、地域の新たな名所として毎年多くの家族連れなどが訪れています。恩曾川をきれいにする会の関口正昭会長(77)は「こいのぼりを見に来た人で、地域がにぎわったらしい」と話していました。

この他、若宮公園でも地域住民により約250匹のこいのぼりが飾られ、5月5日まで空を泳いでいます。

地域住民でつくる「恩曾川をきれいにする会」が、地藏橋親水広場に約300匹のこいのぼりを掲揚しました。5月6日まで楽しめます。

県内初、液体ミルクを備蓄 災害発生時の備蓄品を充実

災害発生時に備えて、市では乳児用の液体ミルク456パックを非常用に備蓄しました。液体ミルクは、3月に初めて国内産が発売されたばかりで、災害用備蓄は、県内でも初めての試みです。

ミルクは、生後0カ月からそのまま常温で乳児に飲ませられます。お湯や水に溶かしたり、薄めたりする必要がなく、水道や電気などのライフラインが途絶えたときでも使えるため、避難所での活用も期待されています。生後7カ月の娘がいる矢野清美さん(28)は「ミルクの有無は子どもの命に関わるので備えがあると安心」と喜びます。



賞味期限が近づいたミルクは市立保育所の給食で使用



元護郷隊員が訴える平和への祈り 「あつぎのえいがかんkiki」で平和トークショー

沖繩戦を経験した平良邦雄さん(91)のトークショーがアミュメントの映画館で開催されました。イベントは、ドキュメンタリー映画「沖繩スパイ戦史」の上映に合わせて実施。75人の来場者が、戦争の恐ろしさを再認識しました。



平良さんの体験は「広報あつぎ2018年8月1日号」でも紹介

平良さんは沖繩戦で、少年を集めたゲリラ部隊「護郷隊」に所属。橋の爆破や物資の破壊などの任務を担った経験があります。イベントでは、友人が次々と命を落としていく様子や命からがら偵察から戻った実体験などを語り、戦争の悲惨さを訴えました。

平良さんは「生き延びた自分だからこそ伝えられる記憶や思いを、後世に残していきたい」と力強く話していました。

奨励金の交付や固定資産税の軽減などの措置が受けられる「市企業等の立地促進等に関する条例」の適用企業として、新たに市内の3社を承認しました。

誘致企業59社に 奨励金交付などの条例適用企業を3社追加



小林市長から各社の代表者に決定通知書を交付

製造・販売する「株式会社大栄製作所」とバス・トラック用フレームの組み立てや部品製造を手掛ける「株式会社武部鉄工所」、産業ガスを中心に8事業を展開する「エア・ウォーター株式会社」で、5年間の固定資産税の軽減などが決まりました。

条例は、企業を誘致し地域経済の活性化や雇用機会の拡大などにつなげるため、2005年に制定。承認数は、今回を含め59社80件に上り、総投下資本額は約1506億円となっています。

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



マオリ族の工芸品を作る生徒たち

FLY TO NZ PROJECT 高校生14人がNZに体験留学

3月に、市内の高校生14人がNZダニーデン市にあるオタゴ工科大学に体験留学しました。

生徒たちは、6回の事前研修を経てNZを訪問。現地の皆さんとの交流を通して語学を学んだり、先住民族マオリ族の文化に触れる講座を受けたりしました。3月30日に市内で開催した実績報告会では、滞在したダニーデン市やマオリ文化、学校生活などの実体験を保護者たちに英語で発表し、一回り成長した姿を見せてくれました。

本年度のプロジェクトでは、8月に中学生、3月に高校生を対象とした体験留学プログラムを実施します。募集は広報あつぎや市HPなどでお知らせしますので、皆さんの申し込みをお待ちしています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

ひとまち 元気

小林市長
小林孝良



合同入社式で希望にあふれる皆さんと

薄紅色の花びらがひらひらと舞う季節、市役所では56人が職員としてスタートラインに立ちました。商工会議所の合同入社式には、中小企業から105人の新入社員が出席。こわばった表情を浮かべる半面、希望に満ちたまなざしに新天地へ懸ける決意をにじませていました。

社会では少子高齢化が進み、人口も減るばかりです。高齢人口(65歳以上)の増加に対して生産年齢人口

もが人生の最期まで自分らしく生き生きと暮らせる「地域包括ケア社会」の構築などを推進。全国に誇れる「持続可能なまち」を目指しています。

市内で働く皆さんの力は、厚木市の財産です。一人一人が仕事を愛し、それぞれの職場を盛り上げることが「元気なあつぎ」の原動力となります。新社会人の初々しい姿に触れ、皆さんが持てる力を発揮できるまちづくりへの決意を新たにしました。

(15〜64歳)が減っていく中、次代を担う若者一人一人に懸かる期待はますます高まっています。

この難局に対し厚木市では、新たな雇用の創出につながる都市基盤整備や子どもたちを健やかに育む「子育て・教育環境日本一」への挑戦、誰

タウンガイド

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
							30						

☎=申し込み ☎=問い合わせ
☎=電話番号 FAX=ファクス番号
✉=Eメール HP=ホームページ
📍=マイタウンクラブ(○印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「○印」と記されたものは、申し込みもできます)
市役所への郵便物は「〒243-8511 ○○課」で届きます。

市史シンポジウム「愛甲の古代を探る」

5月19日、10～18時。文化会館。地域の古代史の報告・討論会。定員350人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎文化財保護課 ☎225-2060。

アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

5月18日、10～14時。アミューあつぎ。JAあつぎ農産物直売所「夢未市」が特別出店。新鮮な地場産野菜や厚木産の米「はるみ」などを販売。☎商業にぎわい課 ☎225-2834。

市民ふれあいマーケット

5月19日、9時～13時30分(雨天中止)。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を130店舗が販売。☎環境政策課 ☎225-2749。

日本赤十字社の活動に協力を

5月は会員増強月間です。日本赤十字社の活動は、皆さんの寄付で運営されています。昨年度は、市内で1643万95円の寄付を頂きました。☎福祉総務課 ☎225-2200。

日本赤十字社の講習会

救急法基礎講習会

6月1日、13時～17時15分。市内在住在勤在学の15歳以上30人。1500円。

救急法養成講習会

6月2・8・9日(全3回)、9時15分～17時15分。全日程参加できる市内在住在勤在学の15歳以上30人。3200円。

いずれも保健福祉センター。心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の取り扱いを学ぶ。☎往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、

全国瞬時警報システム (J-ALERT) 全国一斉情報伝達試験

J-ALERTの確認のため、防災行政無線で試験放送を実施します。
《日時》5月15日 11時～
気象状況により中止の場合あり。
☎危機管理課 ☎225-2190

市外在住の場合は勤務先または学校名を書き、5月22日(必着)までに〒243-8511福祉総務課 ☎225-2200へ。検定合格者には認定証を交付。

市立病院「看護の日」記念行事

ポスター展(院内の様子を紹介)

5月7日～6月6日。☎当日直接会場へ。

ロビーコンサート

5月13日、17時～17時45分。☎当日直接会場へ。

1日看護体験

7月26日。県内在住在学の高校生20人程度。☎7月3日までに市立病院HPへ。抽選。

いずれも市立病院。無料。☎病院総務課 ☎221-1570。

市立病院職員を募集(身体障害者枠・任期付き職員)

《対象》1985年4月2日～98年4月1日生まれで①身体障害者手帳を持つ②対象職種の資格免許を持つまたは2020年実施の試験で取得見込みの全てを満たす方若干名。☎市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所、市立病院HPにある申込書を、直接または郵送で、8月2日(消印有効)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課 ☎221-1570へ。対象職種など詳しくは募集案内を確認してください。

市立病院インターンシップ参加者を募集

《実施日》7月30日、8月6日。9時～12時45分《対象》看護学生または看護師免許を持ち復職を考えている方各回20人。☎市立病院HPにある申込書を、直接または郵送で、6月28日(必着)までに〒243-8588水引1-16-36病院総務課 ☎221-1570へ。

市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員を募集

人口減少を克服するための施策などに意見を頂く委員を募集します。
《対象》①市内在住市内在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の

春はイベントに出掛けよう

無料

相模川ローズガーデンフェスティバル

約1300本の美しいバラと多彩な催しが楽しめます。

日時 5月18日 14～17時
(荒天の場合は翌日順延)

会場 相模川ローズガーデン



祭りの見どころ「阿波踊り」

内容 阿波踊り(11時30分～13時30分、みなみ大通り)、ミニコンサート、模擬店など
☎県央経営者会 ☎296-7010

スポーツなじみDAY

ニュースポーツを体験しませんか。

日時 5月18日 10時～15時30分

会場 荻野運動公園

屋外 ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフなど

屋内 セストシューター、バウンスボール、キンボール、ドッチビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど

※雨天時は屋内のみ。室内履きをお持ちください。
☎当日直接会場へ。

☎スポーツ推進課 ☎225-2531



大人も子ども楽しめるニュースポーツ

少年少女フェスティバル

親子で楽しくおもちゃを作り、絆を深めませんか。

日時 5月19日 11～16時

会場 アミューあつぎ

内容 紙パック工作、空気砲、紙ブーメラン、万華鏡、風車、折り紙、輪ゴム鉄砲、ゴリゴリプロペラ、登るあゆこちゃん、水鉄砲、しおり、スーパー竹とんぼ、たこ、プラとんぼ

☎当日直接会場へ。

☎青少年課 ☎225-2580



5月はあつぎこども月間

ジュニアリーダーや青少年指導員などが優しく教えます

審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人《任期》6月中旬～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。☎企画政策課や市HPにある申込書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月24日(必着)までに〒243-8511企画政策課 ☎225-2455・☎225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

区域区分と都市計画道路変更案などの縦覧、意見書の受け付け

県と市では、南部産業拠点(酒井地区)の区域区分と都市計画道路酒井長谷線の変更案を縦覧します。市では、区域区分の変更に伴う都市計画の変更案も縦覧し、意見書を受け付けます。

《縦覧》5月7～21日、8時30分～17時15分(土・日曜を除く)。都市計画課または市HPに掲載《意見書受け付け》都市計画課や市HPにある意見書を、直接または郵送で、5月21日(必着)までに〒243-8511都市計画課 ☎225-2400へ。

5月12日は民生委員・児童委員の日

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役です。高齢者・障がい者・児童などの福祉のことでお困りの方は、気軽に相談してください。地域を担当する委員は、福祉総務課 ☎225-2200で確認できます。

本厚木駅連絡所を臨時休業

5月16日は駅ビル休館日のため休業します。☎市民課 ☎225-2110。

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

4月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆リニューアルした荻野運動公園の設備を生かして、公式のスポーツ大会が行われ、多くの選手が活躍することを期待したい／50代男性 ◆新たに導入された助成制度で保育士が増えて待機児童が減ることを願う／40代女性 ◆地元のスポーツ選手が活躍するとうれしい応援がいがある。東京五輪がさらに楽しみになった／40代男性 ◆グルメフェスタなどの魅力的なイベントに市外からも訪れてもらえるようPRを続けてほしい／60代女性

編集後記

特集の取材で平成元年生まれの鈴木さんにお話を伺いました。入学や就職のたびに先輩や上司から「とうとう平成世代が入ってきた」と言われたエピソードを笑顔で話していただいたのが印象的でした。昭和63年生まれの方と1歳しか変わらないのに、そこで「昭和世代」と「平成世代」に分かれるのは元号がある日本ならではのようです。これから生まれる「令和世代」に、同じことを言える日が来るのを楽しみにしています／佐藤

参加者募集

あつぎ市民芸術祭 演目：白雪姫 あつぎ市民参加ミュージカル

2年に一度のステージと一緒に作り上げる、出演者・ボランティアスタッフを募集します。多くの仲間と、素敵な作品を作りましょう。
☎文化生涯学習課 ☎225-2508

《公演日》12月15日

《場所》文化会館

《練習日》8～12月の日曜
(全20回程度)

★オーディション

《日時》6月30日 10～16時

《対象》市内在住在勤在学の小学3年生以上60人

《費用》5000円(合格者のみ。公演チケット2枚含む)

☎ハガキに「ミュージカル希望」、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、性別、電話番号を書き、6月14日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課へ。

ボランティアスタッフ募集

《内容》練習の補助や公演の受け付けなど。

☎7月31日までに文化生涯学習課へ。

誰もが輝ける場所

私もこれまで5回ほど出演しました。市の広報紙を見て応募したのがきっかけです。幅広い世代の市民が集い一つのステージを作り上げる。発表後の達成感、なかなか他では得られません。市民ミュージカルは、自分が輝くきっかけを作れる場所です。少しでも興味がある方は、迷わず参加してほしいです。



市民芸術祭実行委員会副委員長
小森安奈さん
(45・恩名)



開始式(11日、9時15分～)ではアルプホルンの演奏も



新緑の季節に最適な、緑あふれる2日間。親子で楽しめる催しも盛りだくさんです。

厚木市

緑のまつり

テーマ 「その1本がみんなの未来を支える木！」

熊笹御堂涼太さん(依知中3年)

《日時》5月11・12日 10～16時

《場所》厚木中央公園

《内容》花と緑のステージ(ダンス、演奏など)、植木市、草花や野菜苗の販売、市民朝市コーナー、スタンプラリー、緑の相談コーナーなど。

《市の花さつき》展示会、苗無料配布(13時～。先着120人)、育て方講習会(14時～)。



市内産の花を使った円形花壇が会場を彩る

前回の演目は眠れる森の美女



緑に親しもう教室

《両日》多肉植物教室=1300円～。

ギャザリング寄せ植え教室=1700円～。

《11日のみ》◆コケ玉教室=10時～、12時～、14時～。各回10人。500円。フラワーボール愛花教室=10～16時。1500円～。ハーバリウム教室=10～16時。500円～。

《12日のみ》◆押し花教室=10時～、12時～、14時～。各回10人。100円。



☎◆は5月10日までに電話で公園緑地課へ。先着順。

騎士竜戦隊リュウソウジャーショー

12日、①10時30分～②14時50分～。無料。

☎公園緑地課 ☎225-2412

あつぎ 元気Wave
5/1～CATVで放送

自然歳時記

● ヤマガラ ●
シジュウカラ科

スズメよりもやや小さく全長 14 ㎝ほど。早春の頃から「ツーピー」と澄み切った高い鳴き声でさえずる。胸から腹の辺りが赤茶色をしたおしゃれな鳥/飯山観音の雑木林で見つけた。

写真・文/吉田文雄



「ピーピー、ニーニー」と濁った鳴き声が聞こえる。これはヤマガラが警戒している声なので少し離れて見ると、目に優しい新緑のミズキの枝先におしゃれな色の鳥がいた。枯れ枝のそばで虫を食べていたが、何かを見つけたのか太い幹へと移り「コツコツ」とつくと、じっと耳を当て不思議そうな

顔をして、また枝先に戻った。

「ニーニー、ニーニー」と少し違った声で鳴くと、別の羽がやって来て仲良く連れ立って飛んで行った。

5月10～16日は愛鳥週間。最近鳥が少なくなったとよく耳にする。人間の生活を最優先に考えてきた影響なのかもしれないと思う。

厚木市の人口
(4月1日現在)

世帯数 9万9669世帯(前月比305世帯増)

人口 22万4655人(前月比174人減)男11万6132人・女10万8523人